

写真データベース 活用法としての デジタルストーリーテリング

福井勝義「北東アフリカ：1967-2006
写真による瞬間の記録」を例として

2023年2月18日（土）
14：00～17：00

オンライン開催／参加無料／要申込み

参加申込みはこちらまで
<https://diplas.net/dst2023/>



国立民族学博物館では、文化人類学などのフィールドサイエンティストによって撮影された写真のデジタルアーカイブ事業を進めています。この研究集会では、元京都大学教授の故・福井勝義氏がエチオピアなどで撮影した写真コレクションのデータベース「北東アフリカ：1967-2006 写真による瞬間の記録」を例に、そのコンテンツを活用する手法の一つとして、デジタルストーリーテリング（写真を素材とする映像作品づくり）を提案し、その可能性について考えていきます。

- 14：00～14：05 開会挨拶 吉田憲司 国立民族学博物館・館長
- 14：05～14：50 趣旨説明 小林直明 国立民族学博物館・プロジェクト研究員
- 14：50～15：00 作品上映 『石ころ遊びの文化的装置』
- 15：00～15：15 コメント 中島恭子 X-DiPLASスタッフ
- 15：15～15：30 コメント 福井正子 撮影者ご遺族
- 15：30～16：15 講演 村橋勲 静岡県立大学国際関係学部・助教
「デジタルアーカイブをとおした現地との対話 ―エチオピア、ボディのDIPLAS資料の活用案」
- 16：15～17：00 ディスカッション

■主催
人間文化研究機構共創先導プロジェクト（共創推進研究）
「学術知デジタルライブラリの構築」
国立民族学博物館拠点（X-DiPLAS）
■お問合わせ
X-DiPLASプロジェクト室（小林）nkoba@minpaku.ac.jp



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立民族学博物館
National Museum of Ethnology